第19回

全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡

主権者教育の新たな展開

◆ 主催者挨拶

全国市議会議長会会長
神戸市会議長
坊 恭寿 ぼう やすなが

第19回全国市議会議長会研究フォーラムを、ここ盛岡市において開催いたしましたところ、多数のご参加をいただき厚く御礼申し上げます。

本フォーラムは、全国の市区議会議員が一堂に会し、共通する政策課題等について情報交換を行うとともに、議員同士の一層の連携を深めることを目的としております。

さて、昨年、地方議会の役割及び議員の職務等の明確化などを内容とする地方自治法の一部改正法が成立し、多様な人材の地方議会への参画促進に向けた環境整備が進められています。

このような中、地方議会は、投票率の低下や無投票当選の増加など、議会への関心の低下や議員のなり手不足が深刻化しており、今後は、同法の改正を踏まえ、女性や若者など多様な人材の議会への参画を一層進めていくことが必要です。

そのためには、各地方議会が自ら積極的に更なる改革に努め議会の活性化を図り、議会の重要な役割について、広く住民に理解が得られるよう取り組まなければなりません。中でも、将来の地方自治を担うこどもたちに対する主権者教育の取組は重要であり、今後は、各地方議会の主権者教育に係る好事例の横展開を一層推進するとともに、議会に対する関心を高め、理解を深める主権者教育を国民運動として取り組む必要があります。

そこで今回は、「主権者教育の新たな展開」をテーマとし、各地方議会の主権者教育に係る事例を検証するなど、改めて地方議会の課題を整理した上で、その解決に向けた今後の方向性を展望します。

各方面からお招きする講師の方々をはじめ皆様方から活発なご意見をいただきながら広く討議し、実りある成果が得られますとともに、今後の活動の一助となることを祈念いたします。

◆ プログラム

■第1日目 10月9日㈭ ［会場：トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館）］

13:00	開会式
13:20	基調講演 「人口減少社会における地域の未来図」 菅 義偉 第99代内閣総理大臣
13:50	休憩
14:20	パネルディスカッション 「地方議会の課題と主権者教育」 コーディネーター 井柳 美紀 静岡大学人文社会科学部法学科教授 パネリスト 土山 希美枝 法政大学法学部教授 越智 大貴 一般社団法人WONDER EDUCATION代表理事 渡辺 嘉久 読売新聞東京本社教育ネットワーク事務局 遠藤 政幸 盛岡市議会議長
16:20	次期開催地挨拶
16:30	終了
17:40	意見交換会 ［ホテルメトロポリタン盛岡「NEW WING 4階「メトロポリタンホール」］
18:40	意見交換会終了

■第2日目 10月10日㈭ ［会場：トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館）］

9:00	課題討議 「主権者教育の取組報告」 コーディネーター 河村 和徳 東北大学大学院情報科学研究科准教授 事例報告者 白鳥 敏明 伊那市議会前議長 諸岡 覚 四日市市議会議員（第83代議長） 服部 香代 山鹿市議会議長
11:00	閉会式
11:30	視察

◆ 基調講演

講師
菅 義偉 すが よしひで
第99代内閣総理大臣

1948年秋田県生まれ。1973年法政大学法学部卒業。衆議院議員秘書、横浜市議2期を経て、1996年衆議院議員選挙で初当選（9期連続小選挙区当選）。2006年9月総務大臣に就任し、「ふるさと納税」を創設。その後、自民党選挙対策総局長、自民党組織運動本部長、自民党幹事長代行等を経て、2012年12月第2次安倍内閣の内閣官房長官に就任。他に国家安全保障強化担当大臣や沖縄基地負担軽減担当大臣、拉致問題担当大臣を務める。2019年4月1日に新元号「令和」を発表。2020年9月自由民主党総裁、第99代内閣総理大臣に就任。

◆ パネルディスカッション

コーディネーター
井柳 美紀 いやなぎ みき
静岡大学人文社会科学部法学科教授

アメリカ生まれ。東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了、博士（法学）。宮城教育大学教育学部・准教授を経て、2011年静岡大学人文社会科学部・准教授に着任、2015年から現職。専門は政治学。近年は、政治と教育、シティズンシップ教育、地方選挙などを研究。昨年は大学で担当する政治学ゼミと静岡市選管とで投票率向上のための研究・提言も実施。共著に「政治学（第2版）」（東京大学出版会）、「政治リテラシーを考える」（風同社）など。地方選挙問題では「Voters」に「地方選挙の低投票率を考える」なども。

パネリスト
土山 希美枝 つちやま きみえ
法政大学法学部教授

北海道芦別市生まれ。2000年法政大学大学院社会科学研究科政治学専攻博士課程修了。博士（政治学）。2001年龍谷大学法学部助教授、2011年に政策学部へ異動したのち同教授をへて2021年から現職。専門は公共政策論、地方自治、政治学。主な著書に「高度成長期「都市政策」の政治過程」（日本評論社、2007）、ほか、「「質問力」でつくる政策議会」（公人の友社、2017年8月）、共著「公共政策学」（ミネルヴァ書房、2018）、「自治体政策学」（法律文化社、2024）など。「議員NAVI」（第一法規ウェブマガジン）にて「ヒロバな議会でいこう」連載中。

パネリスト
越智 大貴 おち ひろたか
一般社団法人WONDER EDUCATION 代表理事

1987年、愛媛県今治市出身。学生時代によのなか科に出会って以来、政治や選挙・よのなかをおもろく学びあい、みんなで創るシティズンシップ教育・主権者教育の研究・実践・場づくりを全国各地で展開している。
高等学校で非常勤講師を務める傍ら、2014年にNPO法人を設立。
2017年に総務省から「主権者教育アドバイザー」の委嘱を受ける。
2022年より現職。こども・若者主導のよのなかづくりモデルを創るきびだんこプロジェクトを展開中。

パネリスト
渡辺 嘉久 わたなべ よしひさ
読売新聞東京本社教育ネットワーク事務局

1987年早稲田大学政治経済学部卒、読売新聞東京本社入社。青森支局、社会部、政治部、世論調査部、編集委員、紙面審査委員会委員長などを経て、2023年から現職。選挙権年齢引き下げをきっかけに「若者と政治」の取材に取り組む。総務省「主権者教育の推進に関する有識者会議」メンバー、同省主権者教育アドバイザーも務める。共著に「2009年、なぜ政権交代だったのか　読売・早稲田の共同調査で読みとく日本政治の転換」（勁草書房）。

パネリスト
遠藤 政幸 えんどう まさゆき
盛岡市議会議長

1961年生まれ。富士大学経済学部卒業。平成11年5月から盛岡市議会議員を務め、連続7回当選。現在7期目。その間、観光対策特別委員会委員長、総務常任委員会委員長、予算審査特別委員会委員長、議会運営委員会委員長、第29代盛岡市議会議長を歴任。令和5年9月から、第31代盛岡市議会議長に就任。議員活動の傍ら、地域に寄り添いながら消防団分団長、学校法人評議員、保護司、少年補導員、日本公衆電話会東北統括支部支部長など、幅広く様々な活動を行っている。

◆ 課題討議

コーディネーター
河村 和徳 かわむら かずのり
東北大学大学院情報科学研究科准教授

1971年静岡県出身。慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学後、慶應義塾大学法学部専任講師（有期）、金沢大学法学部助教授を経て現職。専門は政治学、近年は復興過程における政治と行政や選挙・議会のデジタル化などを研究。総務省地方議会・議員のあり方に関する研究会構成員や全国都道府県議会議長会都道府県議会デジタル化専門委員会座長、全国町村議会議長会町村議会議員のなり手不足対策検討会委員などを務める。著書に「電子投票と日本の選挙ガバナンスーデジタル社会の投票権保障」（慶應義塾大学出版会、2021年）など。

事例報告者
白鳥 敏明 しろとり としあき
伊那市議会前議長

1948年1月生まれ。工学院大学電気工学科卒業。平成20年6月まで長野日本電気株式会社取締役。平成26年4月から伊那市議会議員を務め、連続3回当選。現在3期目。令和2年5月から総務文教委員長、令和4年5月から令和6年5月まで第9代伊那市議会議長を歴任。市民に開かれた議会を目指し、高校生との意見交換会を開催し、若者の意見を聴取するとともに高校生からの請願を収受、また住民参加と議会機能強化のために、議会モニター制度や政策サイクル機能を制定。

事例報告者
諸岡 覚 もろおか さとる
四日市市議会議員（第83代議長）

1971年農家の二男として生まれる。94年日本大学農獣医学部卒業。2004年から四日市市議会議員を務め、現在6期目。教育民生常任委員会委員長、総務常任委員会委員長、都市・環境常任委員会委員長、予算常任委員会委員長、決算常任委員会委員長、議会運営委員会委員長、新総合計画調査特別委員会委員長を歴任。19年5月から20年5月まで議長を務め、若者を対象とした出張方式の交流を実施するため、現在の「ワイ！ワイ！GIKAI」の立ち上げに取り組んだ。

事例報告者
服部 香代 はっとり かよ
山鹿市議会議長

1962年熊本県山鹿市生まれ。熊本音楽短大卒業。音楽教室主宰。音楽療法士。2人の子どものPTA活動に16年間携わる。男女共同参画社会の実現を目指し、民間団体で活動。
2013年、女性議員ゼロだった山鹿市議会議員に立候補し、初当選。2021年、5代目議長就任。
くまもと女性議員の会会長。ローカルマニフェスト推進連盟元共同代表。女性ネットワークやまが顧問。鹿本高校同窓会副会長。「多様性が求められる社会で女性議員の存在は重要」地方議会人2023年8月号。